

高等学校 美術 学習指導案

大阪府立 高等学校

日 時 平成 26 年 1 月 22 日（水） 5 限

場 所 特別棟 1 階 美術室

学 年 3 年生選択

科 目 学校設定科目「立体造形 A」

講 座 19 名（男子 7 名、女子 12 名）



題材名 模型製作「理想の建築と空間をつくろう」

題材設定の理由

今までの立体作品制作を通じ、具体的な形や質感を意識しながら制作することを学んでいる。また模型を制作することで縮尺も踏まえ、ものを作る上での計画を立てることを学習している。

生徒達は作業的な制作は比較的得意とするが、ものごとを想像し表現することを苦手とする。題材を理想の建築と空間とすることで一から計画し制作するため想像力を育むことができる。考えたものを制作することを通して制作中に起こる問題を解決しようとする問題解決能力も鍛えられると考える。また他者の作品を鑑賞することでお互いの個性を認め合う力を育むことができる。

題材の目標

- ① イメージを表現することができる
- ② 自分なりに具体的に計画を立てることができる。
- ③ 素材や道具を考え、自分のイメージに合うものを選択できる。
- ④ 自分の作品の説明ができる。
- ⑤ 他者の作品を鑑賞することでお互いの個性を認め合うことができる。

計画

総時間数 15 時間 （スケッチ 3 時間、制作 10 時間、発表 2 時間） 本次は 15 時間目

準備

生徒 筆記用具（鉛筆、消しゴム、定規）

指導者 スチレンボード、カッターナイフ、カッター板、模型材料、スチレン用のり

評価の観点及び趣旨

《美術への関心・意欲・態度》◎

立体や建築に興味を持ち、自分のアイデアを表現することに意欲的に取り組んでいる。

《発想や構想の能力》▲

柔軟な発想で、自分のアイデアを基に、イメージを広げて、空想のものの仮説を立てることができる。

《創造的な技能》◆

自己のイメージを、素材の質感などを意識しながら制作できる。空想のものを仮説を立てながら計画的に制作することができる。

《鑑賞の能力》★

他者の作品を鑑賞することで、自己の反省点に気付くことができる。また、他者の感じ方、考え方を理解しお互いの考えを認め合うことができる。

本課題の学習計画（本時は 15 時間目）

時間	学習活動	ねらい・指導上の留意点	評価の観点・方法
1	様々な建築の鑑賞・今までの制作活動の振り返り	・自由課題のアイデアの参考にする。	◎本題材へ興味関心をもっている。[観察法]
2 3	課題プリント アイデアスケッチ	誰がどんなふう利用するのか。どんな場所かなどを考えながら作品制作の計画をたてる。	◎意欲的に制作活動を行っている。[観察法] ◆様々な方向から見たことを考えたスケッチができる。（立面図・断面図・平面図）[課題プリント] ▲柔軟な発想でアイデアを出すことができる。[課題プリント]

4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	スチレンボードで基本形を作成する。 イメージに合う材料等を用いて仕上げる。	自分のイメージを形にするうえで素材の扱い方などを考える。 空間の中でどんな活動をするのかを考えながら制作する。 素材や組み立て方などのアドバイスをする。	◎立体や模型制作に興味を持って取り組んでいる。[観察法] ◆自分のイメージをもち自分なりに工夫しながら立体に表現できる。[作品] ◆素材感を生かしながら制作できる。[作品] ◆作業が丁寧で美しい作品である。[作品]
14 15	鑑賞 完成に伴うレポートを作成し、自分の作品の紹介を行う。 他者の作品を鑑賞し鑑賞プリントに記入。		★自己の作品の反省点に気付いている。[発表・課題プリント] ★他者の感じ方、考え方を理解し、他者の意見を認めることができる。[課題プリント]

◎は《美術への関心・意欲・態度》 ▲は《発想や構想の能力》 ◆は《創造的な技能》 ★は《鑑賞の能力》

本時の学習指導計画

時間	学習活動	指導上の留意点	評価の観点・方法
導入 5分	- 準備（自分の作品を机上に用意し発表の準備をする） - 発表の流れを確認する。	本時の流れを確認させる。	
展開 35分	- 発表 前で自分の作品の説明を行う。 - 他者の作品を鑑賞し、意見を述べる。 - 鑑賞カードを記入する。	- 発表するのが苦手な生徒や極端に説明内容の短い生徒には質問等をし、発表を促す。 - 他者の作品を鑑賞させ鑑賞カードを書かせる。	《美術への関心・意欲・態度》 意欲的に自分の作品を言語活動によって表現しようとしている 《鑑賞の能力》 他者の作品を積極的に鑑賞し感想を述べられる。

まとめ 10分	・ まとめ 作品発表会全体を通しての意見交換を行う。 1年間の授業全体のふり返りとまとめを行う。	・ 生徒に全体を通しての感想を求める。 ・ アンケートを書かせる。	《鑑賞の能力》 他者の意見や考えを尊重し、自分の意見を述べることができる。
------------	--	--	--

本題材の評価及び評価の総括

《本題材の評価》

観 点	美術への 関心・意欲・態度				発想や構想の能力				創造的な能力				鑑賞の能力			本 題 材 総 合 点 計 /100
名 前	観察法による 評価			点 数 計	作品と観察による 評価			点 数 計	作品と観察による 評価			点 数 計	感想用紙 からの 評価		点 数 計	
	I	II	III	/25	I	II	III	/30	I	II	III	/25	I	II	/20	
	/10	/10	/5		/10	/10	/10		/10	/10	/5		/10	/10		

《本題材の評価の総括》

観 点	美術への 関心・意欲・態度	発想や構想の 能力	創造的な技能	鑑賞の能力	総計
A+	24, 25	29, 30	24, 25	19, 20	96～100
A	22, 23	26～28	22, 23	17, 18	87～92
B	19～21	23～25	19～21	15, 16	76～83
C	10～14	13～17	10～14	9～11	42～56
C-	6～10	7～12	6～10	5～8	24～40
D	～5	～6	～5	～4	～20